



平成26年5月1日現在	
総世帯数	1,459世帯
総人口	2,750人
男	1,272人
女	1,478人

花桃に誘われて

常盤町町会
小穴 由子

4月24日、晴天、町会の「日帰り旅行」は、花桃を觀賞しながらの平谷温泉行(こつ)であった。この地域での「花桃まつり」には、以前から関心があり、よい機会であったので心が弾んだ。

朝9時、有志14名を乗せ送迎バスが出発。長野自動車道、中央自動車道を南へ。駒ヶ岳SAで一服。飯田山本ICから三州街道を走る。途中、観光客で賑わう昼神温泉郷の「阿智の里ひるがみ」で満開の見事な紅白の花桃に堪能、心が浮き立つ。阿智川を渡り街道の花桃のトンネル、目の前に広がる花桃の美しさにまたもや皆歓声をあげる。

標高がだんだんと高くなり寒原峠、治部坂峠を越して平谷村の集落に入る。家々に植えられた花桃や沿道の花桃並木



が目に映える。阿智村・平谷村の観光政策に感動した。

11時30分、平谷温泉「ひまわりの湯」に到着。早速お風呂に入るや驚いた。身体のお芯まで温まるだけでなく、肌が滑りつるつるに!「美人の湯」と評されているように玉子肌を実感する。

さあ、飲む、食べよう、話そう、歌おう。楽しかった。時は瞬間に過ぎた。14時30分、宿を出発。予定を変更してミツバツツジを見に、花桃や枝垂桜を眺めつつ清内路峠を越え、南木曾町の太白公園へと向かった。太白公園には、約400株のミツバツツジが鮮やかなピンク色に咲いていた。こんな群生は初めてで息を呑む。ツツジの間の小路を散策する。近くには国の重要文化財の木

町会のお花見

飯田町二丁目町会
村上 重義

ツツジの間の小路を散策する。近くには国の重要文化財の木の吊り橋「桃介橋」もある。16時、現地を出発。途中「大桑道の駅」にて買物。奈良井を通過中、人家のある空地に十数匹の猿がいて驚いた。木曾路の陽光は陰るが、松本はまだまだ。18時、無事到着。楽しい一日の旅は終わった。

町会の公民館活動として毎年秋に行楽を兼ねて町内の親睦を深める企画をしてきているが、高齢化が進む中、昨年は思うように募れず、三月に昼食会を持ったのみであった。そこで今年は活動を活性化



させようと、町内公民館長の林さんより総会の折に提案がなされ、急遽お花見を企画することになった。ちょうど桜の開花の時期でもあり、波田の安養寺のしだれ桜が候補にあがり、早速募集をかけた。急なことで参加者が集まる心配されたが、林さんの声掛けで11名が参加し、4月19日(土)に車三台に分乗して出かけた。

まずは唐沢の根橋屋で食べきれないほどの料理と蕎麦に舌鼓を打ちながら、それぞれの近況に話の花を咲かせた。満腹になったところで、上波田の古刹盛泉寺に参詣した。寒い風が吹く中、山門にて全員で記念撮影をし、境内のしだれ桜や三本杉、水芭蕉を楽しみ、観音堂に参拝した。

ちょうど近くの阿弥陀堂で「仁王尊股くぐり祭」が開催されているとのことで、立ち寄った。子供の股くぐりを見て、力餅などを所望し、境内の桜を見ながら散策した。

いよいよ、本命の安養寺に向かった。多くの人でにぎわっていたが、それでも樹齢五百年といわれるしだれ桜は圧巻であった。しばし、素晴らしい満開の桜を

サークル紹介



水明書道会は「毛筆で心を込めた書を」をモットーに毎月第2・4火曜日の午前10時から12時まで活動しています。書道に興味のある方のお越しをお待ちしております。

水明書道会



眺め、堪能したところで、帰路についた。最後は喫茶店に寄り、さらに話の花を咲かせ、大いに町内の親睦を図ることができた。秋には多くの参加者が得られる企画をし、活動が活発に行われることを期待したい。

第二地区地域づくりセンターの発足にあたって

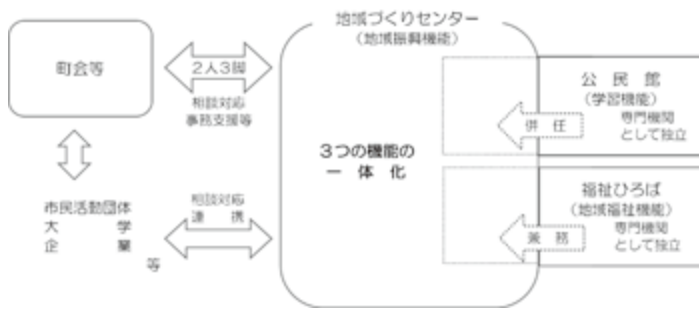
センター長 船坂 義明

準備職員としてこの地区にお邪魔して一年になりましたが、いよいよこの4月に「第二地区地域づくりセンター」が設置され、センター長という肩書をいただきました。「あの奥に座ってる人は何する人？」という声もちらほらですが、何をする人かといわれれば、地域の困りごとをどうやって解決していけばいいのか地域の皆様と一緒に考えていく人です。

難し気な話をすれば、団塊の世代が後期高齢者となる2025年頃には超少子高齢型人口減少社会の訪れが予想されています。2030年には、3人に1人が高齢者となり、単身世帯が約4割に増加すると言われており、孤立死、空き家、防災体制等、様々な地域課題が想定されます。

そんな将来の不安を乗り越える地域づくり(安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築するため、住民が主体となって地域課題を解決していく活動や取組み)を支援していく拠点として設置されたのが地域づくりセンターです。…というようなことなのですが、もちろん一朝一夕にできることではありません。まずは、小さなことからでも進めていきたいと思っておりますのでお気軽にお声かけください。

センターのイメージ図



また、地域づくりセンターと公民館、福祉ひろばとの関係が分かりにくいとお話もありませんが、今まで基本的には公民館は学習、福祉ひろばは福祉を分野として事業を進めてきました。それぞれが地

町会役員

平成二十八年度

(◎会長 ○同副)

町会長

- 南源地 秋山 博見
北源地 佐藤 文彦
梅ヶ枝町 降旗 勝一
長沢町 木下 眞吾
錦町 青柳 孝明
栄町 竹平 隆一
常盤町 ◎杉浦 勝
中条東1 小林 進一
中条東2 ○井野根 修
中条東3 横山 知充
中条東4 清水 一宏
向島 腰原 春郎
宮村町1丁目 伴 吉宏
宮村町2丁目 小林 九雄
天神南小池町 高根 基
飯田町1丁目 ○大塚 敏正
飯田町2丁目 戸田 喜章
小池町 小林 正一

町内公民館長

- 南源地 茅野 幸隆
北源地 筒井 完次
梅ヶ枝町 ◎中嶋 弘壽
長沢町 小林寿美子
錦町 石井 博志
栄町 瀧沢 吉孝
常盤町 小穴 隆一
中条東1 丸山 直道
中条東2 松宗佳代子
中条東3 青柳 茂
中条東4 横山 和美
向島 福田 守孝
宮村町1丁目 小林 寛也
宮村町2丁目 小林 敬司
天神南小池町 中野 勝田
飯田町1丁目 百瀬 貞夫
飯田町2丁目 ○林 田鶴子
小池町 小松 有司

福祉ひろば事業推進協議会

- 会長 井野根 修
副会長 松田 妙子
会 計 根本三三子
青柳 孝明

職員関係

- 第二地区地域づくりセンター センター長 船坂 義明
(館長補佐)
第二地区公民館 館長 関口 隆男
主 事 棚橋 輝彦
事務職員 笠原久美枝
上條 和美

福祉ひろば

- コーディネーター 西 弘子
祖父江律子

公民館五部門委員

次号でお知らせします。



昔、子供の頃、70才程の老翁を見るとき「これが仙人だ」と思ったものだ。無理もない。人生50年の時代だったから。今はもう人生80年の時代になった。

朝、新聞を読む時、欠かせないのが「おくやみ欄」だ。これでいいという年令は勿論ないが、100才前後の方々がいて「老衰のため」とあると何故かほっとする。木々が年を重ね朽ちて自然に還るように人生を全うしたのだと思う。それが60代や70代で「病気療養中のところ」とあると本当に口惜しくなる。まだまだこれからの人生じゃないかと。そのうちに寿命が延びて人生90年という時代がくるかもしれない。けれど自立して生活できる健康寿命こそが望まれる。その時、年金や後期高齢者保険や介護施設はどうなっているのだろうか。現に今、年金の減額、消費税率増による諸料金や物価の値上げ等と枚挙にいとまがない。テレビで、引き取り手のない老犬が殺処理場へ連れていかれまいと必死に足を踏ん張って抵抗している姿を見て、思わず高齢者にオーパーラップしてしまっただ。(深澤)